



□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : information@hokoren.com

□ 編集責任者 河田 茂美

■県知事との意見交換会開催

平成 25 年 2 月 7 日宇都宮市内のホテルにおいて、県内 8 ヶ所の工業団地管理協会や協議会で構成されている、栃木県工業団地管理連絡協議会による「栃木県知事との意見交換会」が開催されました。

栃木県からは、福田知事・小林産業労働観光部長を含め 5 名が出席し、団管連からは、真岡工業団地総合管理協会理事長の藤井理事長を始め 24 名が出席、総勢 30 名での意見交換会となり、芳工連からは、澤田会長、富永副会長、事務局長の 3 名が出席しました。

意見交換会の趣旨は、年に一度、団管連会員と知事とが直接お会いをして、各工業団地の情報や要望などの意見交換をするものです。

宇都宮工業団地の富永専務理事の司会で、藤井副理事長の挨拶の後、福田栃木県知事から県政についての卓話がありました。

知事講話について抜粋をさせて頂き掲載いたします。

■県政概要

昨年も東日本震災からの復興・原子力災害対策に努力をして参りました、同時に芳賀郡内を襲った竜巻被害対策にも取り組んだ一年でありました。 栃木県は原発対策として、昨年 4 月に庁舎内に原子力対策本部を立ち上げ、庁内の情報の一元管理を行っており、関係する町市が行う除染支援・食品の放射線検査・空間放射線のモニタリング強化等あらゆる手立てを立てたとの事。

一方国政では、年末には安倍新内閣が発足し、新しい日本に向け、国造りがスタートしデフレからの脱却・経済の再生・東北の復興等を第一に掲げスタートし、経済再生についても、大胆に、金融政策、機動的な財政政策・民間投資を喚起する為の成長戦略を上げ、これを 3 本の矢として位置付け総力を挙げ進める事となり、1 月 11 日緊急経済対策・15 日補正予算案・29 日新年度予算が閣議決定し、これを受け県としては、迅速に対応していき、平成 25 年度の栃木県の予算については、補正予算は、350 億弱・新年度予算については 7690 億前後となり、国同様 15 ヶ月の予算編成で、経済再生・



産業振興をしっかりと進めて行き、今年は、東日本震災からの復興の仕上げの段階としたいと考えているとの事。

県は、5年の総合計画を立ており、今年は新栃木元気プラン3年目で、施策として、人造りを見据え安心・成長・環境の3つの戦略を着実に進め、元気のよい栃木県を目指すとし力強く宣言していました。

■電力再生可能エネルギー関係

脱原発・卒原発がうたわれていますが、太陽光にて本県の電力をまかなうとしたら、メガソーラー1000KWで2haが必要で17000カ所面積にして、34000haとなり県土面積の5.5%となります、そこに全てパネルを敷き詰めないと賄えず、那須町を全部ソーラーで埋め尽くす事になり、そのような事はあり得ません、小水力発電は30万カ所と膨大な数となり発電設備を設けなければならず、再生可能エネルギーで全部はあり得ません、再生可能エネルギーは、全国3位の日照時間ですし、男体山から野木町の標高差2300メートルの標高差を使っての小水力発電・農林業を利用したバイオマス拡大に期待しているとの事。

県として、電気の地産地消を図る為に新たなエネルギー戦略を早期に策定し、引き続き、住宅・事務所への太陽光の発電設置促進・メガソーラー導入支援技術・屋根貸し等これらに取り組み、市・町へもノウハウも含め支援するとの事。

中小企業が行う新エネルギー導入に必要な設備の整備に関して、県の融資制度に融資対象として追加、12件を24年度承認との事。

■企業誘致や雇用関係

企業誘致と県内での再投資の課題について、県内工業団地より県内経済の起爆剤となるような、成長産業を誘致してはどうかとの意見に対しては、災害に対するバックアップ機能を確保する企業、東日本に拠点を持たない西日本の企業をターゲットにするなど、積極的な誘致活動を行って行きます。

立地補助金の交付対象地域は、産業団地工場跡地等にも広げ、立地企業が、工場新設等、建替をする際に補助制度内容について、県内での操業年数要件緩和、建物への投資額要件の引き下げを行いますので、是非活用し再投資をお願いしたいとのお話でした。

雇用関係について、栃木県の求人倍率は有効倍率 県 0.78倍 全国平均 0.82倍を下回り、全国25位と厳しい状況にあり、今春卒業の大卒者の内定率昨年比3.1%増となっているものの、就職率は、55.7%と厳しい状況が続いている中、4月に栃木ジョブモールを開設し、労働局と連携し、若年者・中高年者等総合的に就職支援をしており、18,000人の利用があり、10月東京で開催の新卒・ユータウンガイダンスの個別相談へは102名参加があったとの事です。

人材育成については、県政の基本姿勢の中に、人造りを織り込んでおり、グローバル化が進展し、国際競争が激しさを増す中での産業競争力の強化、あるいは地域の活性化に寄与でき



る人材育成が求められています。

活躍できる人材育成に取り組んでいきたいと述べられました。

■道路環境整備について

道路環境について、芳賀工業団地よりの要望の、国道408号バイパス工事について、野高谷交差点から国道4号線までの6.6キロを3つの区間に分け、優先順位を決め対応との事、JR/国交省との協議の区間もあり、全体の供用時期は未定ですが、H24年度よりは、一部工事に着手しているとの事。

いくつかの工業団地より提案をしている、交通渋滞の緩和の要望について、インフラ整備として、道路事業を推進しておりますが、企業の皆様には、可能な範囲で相乗りなどエコ通勤の協力願いがありました。



■懇親会

知事との意見交換終了後、場所を変えて、参加者一同による、懇親会に移りました。

懇親会は、清原工業団地総合管理協会、中川副理事長の乾杯の発声で開始しました。各工業団地関係者や、県の関係者の多くの方は、この機会とばかりに、経済復興・企業誘致について各工業団地の経済状況などの意見を交わすなど、穏やかな中でも緊張感のあった情報交換会でした。



■総務企画部会

1) 第28回ボウリング大会開催

2月20日(水)宇都宮ゴールドレーンにおいて、第28回芳工連ボウリング大会が開催され、10社32名が参加し日頃の腕を競い合いました。

ゲーム開始と同時に大歓声、目をやると早々のストライクと幸先のいいスタートと思いきや、ピンが倒れなくても大歓声と和気藹々のボウリング大会で、優勝は、AGCオートモーティブウインドウシステムズ(株)・伊沢様(325ピン)

(写真右)2位(株)オートテックジャパン・菊地様(316ピン) 3位本田技研工業(株)川野様(282ピン)でございました。おめでとうございます!

又、今回のボウリング大会に際し賞品を御提供して頂きました企業様は次の、AGCオートモーティブウインドウシステムズ(株)様・三菱UFJ信託銀行様・エヌケイエンジニアリング(株)様・(株)オートテック様・ホンダエンジニアリング(株)様(株)本田技術研究所様・本田技研工業(株)品質改革センターの各企業様でした、紙面を借りてお礼申し上げます。

ありがとうございました。



■安全衛生部会

2月21日真岡市内に於いて、真岡労働基準監督署主催の管内の運送事業者及び荷主との労務・安全衛生に係る懇談会が開催されました。主催者の真岡労働基準監督署沼澤署長より、管内での労働災害の発生が、前年比1.3倍と大幅な増加となっており、運送業界に於いても、荷物の取り扱い中・運行時の労働災害も増加傾向との事で、懇談会の開催に至ったとの挨拶がありました。懇談会には、管内の陸上貨物運送事業者（団体）・商工会工業団地関連団体等42名の参加があり芳工連よりは、安全衛生部会の藤枝部会長・事務局が出席し、芳工連内の企業では、製品の出荷・原材料の入荷の際には、多くの安全施策が実施されている事を報告させて頂きました。



運送業界よりは、荷主側の安全配慮に対しては、感謝の言葉があり、互いが安全への意識を今迄以上に保つことが確認されました。

意見交換会では、運送業会が置かれている状況の実態として、ここ数年運送量が半減している状況下、運送業社数は倍増している中、適切なコストの受注では競争力低下となり、何かを犠牲としないと受注できない状態で、故に事故に繋がる可能性があるとの話がありました。最後に、真岡労働基準監督署沼澤署長より、運送業界・荷主に対して、道路貨物運送事業における労働災害防止への協力について特段の配慮をお願いする要請書が手渡されました。今回の、懇談会開催にあたり、各企業様より貴重なご意見を頂きました事感謝申し上げます。

■安全衛生部会・環境整備部会

1) 優良企業視察研修

安全衛生部会・環境整備部会合同の優良企業視察が、2月26日（火）13社18名の会員が参加し、実施されました。



今年度は、佐野市内のハウス食品(株)関東工場を視察をさせて頂きました。会社としてQCM・EMSマネジメントへの取得は1995年と早く、安全衛生への取り組みについては、委員会を組織し安全・衛生・交通それぞれに職場委員会を組織し活動を行い、昨年の夏には、570万時間の無災害を達成したとの事だそうです。工場見学は、カレールウ・オーザックの製造ラインを見学させて頂きましたが、徹底した衛生管理・安全管理が施され、リスクアセスメントの継続的な活動による職場内の不安全個所の抽出を徹底的に行い、結果2004年以後休業災害ゼロを継続しているとの事だそうです。

ハウス食品(株)関東工場の皆様、ご多忙の中での対応ありがとうございました。

芳工連日誌

【2月の実績】

- 07日 知事との意見交換会（団管連）
- 20日 ボウリング大会
- 21日 保育支援協議会
- 21日 運送事業者及び荷主との
労務・安全に係る懇談会
- 26日 優良企業視察研修会
（ハウス食品(株)）
- 27日 資源ごみ回収日

【3月の予定】

- 05日 安全衛生部会
- 05日 環境整備部会
- 07日 交通防犯部会
- 07日 総務企画部会
- 13日 惣誉を愛する会
- 14日 役員会
- 19日 普通救命講習会
- 27日 資源ごみ回収日